

シルク博物館令和元年度年報

シルク博物館

令和2年7月

シルク博物館令和元年度年報

目次

1 ごあいさつ	1
2 建物の概要	2
3 令和元年度のおもな出来事	2
4 事業	3
(1) 展示事業	3
ア 常設展示	
イ 春の企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展 「シルクのシンフォニー ～染と刺繻のかがやき～」	
ウ 秋の特別展 開館 60 周年記念 横浜・生糸ものがたりⅡ 「白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—」	
(2) 教育普及事業	6
ア チャレンジ! かいこプログラム	
(3) 実演・講習会	9
ア くみひも作り体験	
イ 手作り真綿の実演と講習会	
ウ スカーフ染め体験	
エ 手描き友禅色挿し体験	
(4) 講座・後援会	10
ア 開館 60 周年記念連続講座「横浜から世界へ—海を渡った生糸」	
イ シルクサロン	
(5) 博物館実習生の受入れ	11
(6) 連携事業	11
ア シルキーウインターフェスティバル	
(7) 資料活用事業	12
ア 購 入	
イ 寄 贈	
ウ 貸 出	
エ 特別利用	
(8) 刊行物	13
(9) 講演	13
(10) レファレンス	13
(11) 後援・協力	14
ア 後援等	
イ 他機関への協力	

(12) 職員の派遣	15
(13) 広 報	15
ア 春の企画展	
イ 秋の特別展	
ウ チャレンジ!かいこプログラム	
エ 連続講座、シルクサロン	
オ ワークショップ、実演	
カ 常設展、基本情報その他	
(14) 開館 60 周年記念事業	18
ア 博物館設備・収蔵環境の整備、改修	
イ 利用者向け事業	
ウ 収蔵品の修復	
(15) その他	20
ア 入館料の改定	
イ オリジナル商品の開発	
5 資料	21
(1) 組織と職員	21
(2) 事業費	21
(3) 所蔵資料	21
(4) 入館者状況	22
(5) 過去の特別展・企画展一覧	23

1 ごあいさつ

シルク博物館は昭和34（1959）年3月12日、横浜開港100年記念事業として建設されたシルクセンター内に開設され、絹の文化や歴史、科学技術への理解と、絹を用いた服飾工芸品の鑑賞の場を提供するとともに、日本の絹の需要促進や国際観光の振興に寄与する目的をもって活動してまいりました。平成31（2019）年3月には開館60周年を迎え、今年度はその記念としてさまざまな事業を実施しました。

展示事業では、春の企画展「開館60周年記念所蔵名品展 シルクのシンフォニー ～染と刺繍のかがやき～」、秋の特別展「開館60周年記念 白き糸の調べーかながわの製糸・撚糸ー」を開催しました。また、常設展示においては、着物や帯などの染織作品や、錦絵、各地の繭や生糸、最近のシルクの加工品など、定期的に展示替して収蔵品の公開に努めました。

教育普及事業では、昨年を引き続き、小学生を対象とした蚕に関する一連の普及事業を「チャレンジ！かいこプログラム」として実施したほか、年間を通じて多彩なワークショップを開催し、外部講師を招いての連続講座のほか、当館学芸員によるシルクに関する講座も実施しました。

開館60周年記念事業としては、収蔵・展示環境の整備を目的とした改修工事や、収蔵品のデータ整備、情報発信などの利用者サービスの充実化、貴重な収蔵品の修復などを実施しました。

令和元年度は、このように充実した博物館活動を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、令和2（2020）年3月4日から臨時休館させていただくという事態となりました。幸い、同年6月2日からは再開できましたので、今後は感染症への十分な対策を取りつつ、シルクの魅力を伝える活動に邁進する所存です。

今後とも、シルク博物館の活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

令和2年7月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積（2階）	798.00 m ² （241.39 坪）	※受付前、ミュージアムショップを含む
（3階）	558.03 m ² （168.80 坪）	
イベントホール	212.72 m ² （64.35 坪）	
第一収蔵庫	21.76 m ² （6.58 坪）	
第二収蔵庫	46.24 m ² （13.99 坪）	
映写室	24.48 m ² （7.41 坪）	
準備室	62.62 m ² （18.94 坪）	
図書室	67.80 m ² （20.51 坪）	

改装 昭和 44（1969）年（開館 10 周年記念）
平成 11（1999）年（開館 40 周年記念）
平成 24（2012）年（開館 53 周年記念）

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
構造 地下 2 階、地上 9 階、塔屋 2 階
建築面積 2,970 m²(900 坪)
延床面積 24,983 m²(7,570.85 坪)
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和 32（1957）年 11 月
竣工 昭和 33（1958）年 11 月（一部）、昭和 34（1959）年 3 月 12 日（全館竣工）
開館 昭和 34（1959）年 3 月 12 日

3 令和元年度のおもな出来事

- ・春の企画展と秋の特別展を各 1 回開催した。
- ・開館 60 周年記念事業として、収蔵・展示環境の整備を中心とした改修工事と、収蔵品のデータ整備や情報発信などの事業を実施した。なお、改修工事実施にあたり、令和元（2019）年 6 月 3 日（月）から 7 月 12 日（金）まで休館した。
- ・令和元（2019）年 10 月 1 日付にて入館区分及び入館料を改訂した。

4 事業

(1) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、繭やシルクの科学、絹製品などができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、日本の復元時代風俗衣装人形、重要無形文化財保持者をはじめとした現代作家の着物、掛袱紗、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな展示を、展示替えを行いながら展開した。また、時代復元衣装人形4躰（奈良時代女性、奈良時代男性、平安時代女性、平安時代男性）の着装を実施し展示替えした。

イ 春の企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展

「シルクのシンフォニー ～染(そめ)と刺繡(ししゅう)のかがやき～」

シルク博物館は昭和 34 年の開館以来、絹の普及、需要増進を目的に様々なシルク製品の収集公開に努めてきた。特に平成 30 年春に紹介した江戸時代の小袖、また現代の人間国宝作家作品は当館の所蔵品の中でも中心となる名品がそろっている。本展では、この中から染めや刺繡による人間国宝作家作品、掛袱紗、花嫁衣装などの逸品を紹介し、絹の美しい世界を堪能するとともに、あらためて絹への興味と理解を深めていただくことを目的として開催した。

【会期】平成 31 (2019) 年 4 月 27 日 (土) ～令和元 (2019) 年 6 月 2 日 (日) (開催期間 33 日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局／横浜繊維振興会

【展示】着物、掛袱紗など染め、刺繡作品 81 点と試し染、型紙、刺繡見本など参考資料 68 点を展示。
会期中、一部展示替えを行った。

【図録】「シルクのシンフォニー ～染と刺繡のかがやき～」 A4 判 40 頁

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
シルクのきもの試着体験	5/5(日)、6/2(日)	2 回	当館職員	3 人
ギャラリートーク	4/29(月・祝) 5/3(金・祝)	2 回	当館職員	24 人
DVD 上映	会期中 14 時～			

【入館者数】

(単位：人)

区分	個人				割引料金				無料 ※	合計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	738	413	109	158	176	290	70	900	1,525	4,379
外国人	87	98	11	4	0	4	0	0	10	214
計	825	511	120	162	176	294	70	900	1,535	4,593

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

【写真】



ウ 秋の特別展 開館 60 周年記念 横浜・生糸ものがたり II

「白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—」

本展では、明治 20 年代以降、神奈川県内各地に製糸工場が次々と設立された歴史を踏まえ、組合製糸の先駆けとなった漸進社や、山梨を本拠地とする純水館茅ヶ崎工場など大規模工場に加えて、個人経営の製糸工場や自宅での操糸に至るまでを紹介した。また、撚糸業で栄えた半原を、神奈川の生糸産業を語るうえで欠くことのできない地域として取り上げ、その発展に貢献した八丁式撚糸機などを展示した。県内の製糸・撚糸産業について理解できる内容とし、古写真、錦絵などビジュアルな資料や製糸・撚糸道具などを展示するとともに、撚糸の実演や映像資料を上映することでわかりやすく親しみやすい展覧会とした。

【会期】令和元年 10 月 12 日（土）～ 11 月 17 日（日）（開催期間 31 日間）

※10 月 12 日は台風による臨時休館のため、翌 13 日から開催した。

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局／

一般財団法人織貿会館／東京織物卸商業組合／横浜繊維振興会

【協力】愛川町教育委員会／神奈川県立図書館／相模原市立博物館／一般財団法人繊維産業会／

横浜開港資料館

【展示構成】座繰り／神奈川県の製糸工場／いろいろな製糸工場／国内トップクラスの撚糸技術／

製糸・撚糸

【図録】 横浜・生糸ものがたりⅡ 「白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—」 A4判 40頁

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
一錘式八丁式撚糸器の実演	会期中毎日	随時	実演補助員	
ギャラリートーク	10/19(土)、 11/2(土)、16(土)	3回	当館職員	30人

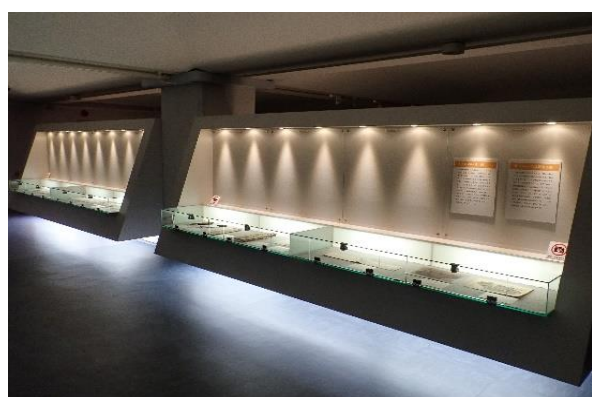
【入館者数】

(単位：人)

区分	個人			割引料金			無料※	合計
	一般	シニア 大学生	高校・ 小中学生	一般	シニア 大学生	高校・ 小中学生		
日本人	314	208	134	106	151	1,063	743	2,719
外国人	132	91	3	0	0	68	22	316
計	446	299	137	106	151	1,131	765	3,035

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

【写真】



(2) 教育普及事業

ア チャレンジ！かいこプログラム

昨年度までに引き続き、蚕種配布・かいこ教室・たのしいかいこの発表会等の事業や通年開催のワークショップ・学校利用等、当館の子ども向け教育普及事業を「チャレンジ！かいこプログラム」と総称してさらに推進した。なお、今年度も神奈川県内の小学校まで広報の範囲を広げ、当プログラムの周知を図った。

第1弾 蚕種配布

蚕の飼育を通してシルクに興味を持っていただくことを目的とし、横浜市内を含めた神奈川県内全域の小学校等に蚕種の有償配布を実施した。なお、指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼育マニュアル」を配布するとともに、教員を対象とした「かいこについての講座」も開講した。

【配布日】 令和元年5月16日(木)～5月18日(土) (3日間)

【配布件数】 210件 (うち横浜市立小学校103件、県内公立小学校14件、その他93件)

【配布数】 蚕種：441袋 (1袋約450粒入)、人工飼料：206本

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
かいこについての講座	5/16(木)、17(金)、18(土)	5回	当館職員	174人

第2弾 かいこ教室

当館の展示や当館で実施する体験を通して、蚕の成長過程・種類、繭や生糸の特徴等について楽しく学び、シルクを生み出す「かいこ」について、子どもたちにより一層興味・関心を持っていただくため、夏休み期間を利用して開催した。

【会期】 令和元年7月27日(土)～8月12日(月・祝) (開催期間15日間)

【主催】 シルク博物館

【後援】 神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局／
一般財団法人日本真綿協会

【展示】 めずらしいかいこの展示および人気投票、昨年度めずらしいかいこの展示の人気投票結果、まゆるんと学ぼう！「かいこ」ってどんな生き物？(蚕の生態に関する解説パネル)、みんなで作ろう！桑の木パネル

【体験】 映画「かいこ」の上映、かいこの観察会、まゆる人形作り、生糸のランプシェード作り、まわたのスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー

体験(平日)	参加者
映画「かいこ」の上映	160人
かいこの観察会	187人
まゆる人形作り	179人
生糸のランプシェード作り	171人

※各体験は1日2回、各回定員20名で開講し、1日で全ての体験に参加できるプログラムとした。

体験（土日）	参加者
まわたスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー	139人

※1日3回、各回定員8名で開講した。

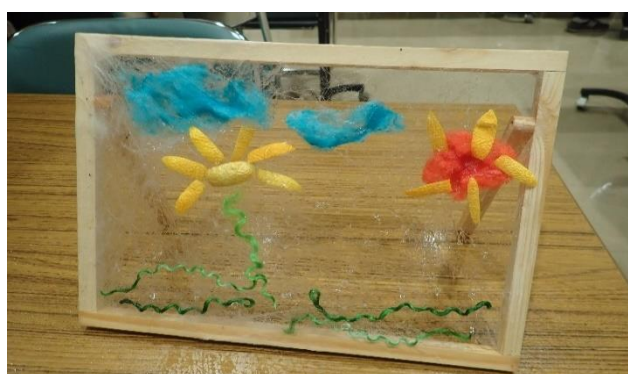
【入館者数】

（単位：人）

	個人				割引料金				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	474	48	43	340	122	25	2	161	344	1,559
外国人	37	19	11	3	0	0	0	0	0	70
計	511	67	54	343	122	25	2	161	344	1,629

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

【写真】



第3弾 団体利用・ワークショップ

a 団体利用

団体見学のなかでも学校利用が大きな割合を占める当館では、説明や映写、ワークシートの利用を含めた見学を通して、蚕について知識を深めるだけでなく、蚕が生み出す「シルク」についての学習へとつなげていくため、見学内容の充実を図った。なお、学校やクラスによって学習したい内容が異なるため、事前に担当教員との打ち合わせも積極的に行なった。

【団体利用数】 54校 うち小学校は43校（横浜市立校32校）

【下見数】 27校

b 子ども向けワークショップ「まゆ人形作り」・「まわたのアヒル人形作り」

蚕が作った繭の特徴等について、子どもたちが楽しく学べる機会を増やすため、当館オリジナルキャラクター「まゆるん」の繭人形作り、真綿を利用したアヒル人形作りのワークショップを開催した。

企画名	実施日（すべて土曜日）	回数	講師	参加者
まゆ人形作り	4/13、5/11、9/14、1/11、2/22	5回	当館職員	6人
まわたのアヒル人形作り	8/24、9/28、11/9	3回	当館職員	2人
かいことシルクの勉強会	10/12、11/23、12/14、2/8、3/14※	3回	当館職員	3人

※10/12は台風19号、3/14は新型コロナウイルスの影響により中止

第4弾 たのしいかいこの発表会

「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、子どもたちが飼育した蚕の観察記録や繭や生糸を使った作品を募集し、蚕について学んだ成果等を発表する機会として開催した。なお、12月15日（日）には表彰式も実施した。

【会期】令和元年11月30日（土）～令和2年1月13日（月・祝）（開催期間30日間）

【展示】出品作品の展示（出品団体数33件、制作者総数747名、出品数590点）、
みんなでつくろう！桑の木パネル（かいこ教室時に作成したもの）

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
たのしいかいこの発表会 表彰式	12/15（日）	1回		234人
生糸のランプシェード作りクリスマスバージョン	12/21（土）	1回	当館職員	10人

【写真】



【入館者数】

開催期間が同じシルキーウィンターフェスティバルの入館者数を含む (単位：人)

	個人				割引料金				無料※	入館者計
	一般	シニア・大	高	小・中	一般	シニア・大	高	小・中		
日本人	255	174	2	—	75	117	1	—	1,266	1,890
外国人	40	20	1	—	5	0	0	—	166	232
計	295	194	3	—	80	117	1	—	1,432	2,122

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券など無料入館者、及び12月15日(日)入館者

(3) 実演・講習会

ア くみひも作り体験

鎧や刀などに使われ、現在でも帯締めや懐中時計の紐など様々な使い方がされている「くみひも」をより身近に感じていただくため、くみひもストラップ作りの体験を実施した。

企画名	実施日 (すべて土曜日)	回数	講師	参加者
くみひもストラップ作り	4/27、5/25、7/20、8/31、10/26、 11/30、1/25、2/29、3/28※	8回	当館職員	13人

※3/28は新型コロナウイルスの影響により中止

イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため、真綿に関する実演や講習会を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の講習会	11/28(木)～30(土)、12/1(日)	4回	河合貞子	6人
手作り真綿の実演	4/6、5/4、6/1、9/7、10/5、 11/2、12/7、2/1、3/7※1 (各土曜日)	8回	河合貞子 当館職員	
真綿からの太糸作り実演	4/20、5/18、9/21、10/19、 11/16、1/18、2/15、3/21※2 (各土曜日)	7回	河合貞子 当館職員	
手紬糸作り実演	4/28(日)、5/12(日)、9/22(日)	3回	田村恭子 (伝統工芸士)	
手紬糸作り講習会	10/27(日)、11/24(日)	2回	田村恭子 (伝統工芸士)	6人

※1 3/7は新型コロナウイルスの影響により中止

※2 3/21は新型コロナウイルスの影響により中止

ウ スカーフ染め体験

シルクスカーフに親しんでいただくため、シルクの白いスカーフ生地やシルクハンカチにビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。本年度は新たに子ども向けのハンカチ染め体験も実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
スカーフ染め体験 (成人向け)	8/18(土)	1回	佐藤のり子	8人
小さなシルクハンカチ染め体験 (子ども向け)	8/17(土)、9/15(日)・16(月・祝)、 1/12(日)・13(月・祝)	5回	佐藤のり子	26人

エ 手描き友禅色挿し体験

美しい友禅染をより身近なものとして親しんでいただくため、友禅染めの糸目糊による模様が描かれた絹生地に色を挿す体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手描き友禅色挿し体験	5/19(日)	2回	生駒暉夫(日本工芸会正会員)	13人

(4) 講座・後援会

ア 開館 60 周年記念連続講座「横浜から世界へ—海を渡った生糸」

令和元年にシルクセンター開館 60 周年を迎えるにあたり、一昨年度から引続き、申込制の連続講座を開催した。

安政 6 (1859) 年の横浜開港当時、日本の他に養蚕が盛んであった国々では、蚕の伝染病や戦争等の影響で生糸の生産が大きく落ち込み、そのため日本には生糸の輸出需要が集中した。日本各地から集められた生糸を求め、横浜には外国商人が集い、また多くの商館が建てられた。日本製の生糸は遠い海を渡り、莫大な外貨を稼ぎ出し、日本の近代化に大きく貢献することとなった。

連続講座では、全国で生産され、横浜に集められた生糸が、どのようにして世界へと渡り、またその後どのように利用されたか紹介した。

【開催日等】 ※3回すべてに出席できることを条件とし、定員 40 名のところ 83 名の申込があった。

講座名	実施日	講師	参加者
「生糸貿易の幕明け—外国商館と売込商」	1/18(土)	西川武臣氏 (横浜開港資料館 館長)	33人
「生糸貿易を支えた横浜の近代建築」	2/14(土)	青木祐介氏 (横浜都市発展記念館 副館長)	27人
「生糸・絹織物輸出とアメリカ市場」	3/14(土) ※	上山和雄氏 (横浜都市発展記念館 館長)	

※3/14(土)は新型コロナウイルスの影響により中止

イ シルクサロン

蚕や絹、染織品など多彩な話題を学芸員がわかりやすく解説する講座。

講座名	実施日	講師	参加者
「いろいろなシルク」	1/26(日)	大野美也子	6人
「蚕の飼育展示のひみつ」	2/9(日)	佐野遊海	7人
「かながわの養蚕信仰」	3/8(日)※	高橋典子	

※新型コロナウイルスの影響により中止

(5) 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当博物館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めていただくため、講義と普及活動の実践（蚕の飼育も含む）による受入れを行った。

前半はシルク博物館の活動や役割についての講義、後半は「かいこ教室」で普及活動の実践を行った。講義で得たことを来館者に自ら説明することで、絹に関わる産業、歴史、文化への興味関心を深めていただく機会とした。

【実習期間】 令和元年7月23日（火）～8月12日（月・祝）（三班に分け実施）

【受入校】 お茶の水女子大学（4年）、成城大学（3年）、専修大学（3年）、鶴見大学（4年）、東京農業大学（4年）、東洋英和女学院大学（4年）、立教大学（3年）各1人、計7人

(6) 連携事業

ア シルキーウィンターフェスティバル

多くの方々にシルク博物館に来ていただき、楽しくシルクへの理解と関心を深めることを目的として、ミニ展示とクリスマスイベントを実施した。また、シルクミュージアムショップの協力により、シルクフェア（スカーフやネクタイ等のワゴン販売）も実施した。

【会期】 令和元年11月30日（土）～令和2年1月13日（月・祝）（開催期間30日間）

【主催】 シルク博物館

【協力】 関東学院大学／クラシック・ヨコハマ2019 横浜市民広間演奏会／
横浜シルクミュージアムショップアソシエーション

【展示等】 横浜輸出スカーフのミニ展示、ホール正面壁面とその周辺の飾りつけ
（共に関東学院大学の協力による）

【イベント】 シルキークリスマス（無料入館日・総入館者数425人）

プログラム名	実施日	出演者等	観覧者
シルクスカーフを用いたファッションショー	12/15	関東学院大学	40人
クラシック・ヨコハマ2019 クリスマスコンサート		横浜市民広間演奏会	61人

【入館者数】開催期間が同様の「たのしいかいこの発表会」の入館者数を含む (単位：人)

	個人				割引料金				無料※	入館者計
	一般	シニア・大	高	小・中	一般	シニア・大	高	小・中		
日本人	255	174	2	—	75	117	1	—	1,266	1,890
外国人	40	20	1	—	5	0	0	—	166	232
計	295	194	3	—	80	117	1	—	1,432	2,122

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券など無料入館者、及び12月15日(日)入館者

【写真】



(7) 資料活用事業

ア 購入 無

イ 寄贈 2点

資料名	点数	寄贈者
足踏み繰糸機	1	難波 ハマ
袋帯和楽器模様紋織	1	野口 昭

ウ 貸出 0件

エ 資料の特別（写真）利用 4件 11点

資料名	点数	掲載誌等	利用者	掲載日等
アンペラ	1	NHK WORLD JAPAN 映像番組 『ジャーニーズ・イン・ジャ	(株)日本国際放送	2月28日
束装生糸	1	パン「横浜の建築」』		

(8) 刊行物

- ・『開館60周年記念所蔵名品展 シルクのシンフォニー ～染と刺繻のかがやき～』図録 A4判
40頁 平成31年4月27日発行
- ・『開館60周年記念「横浜・生糸」ものがたりⅡ 白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—』 図録
A4判 40頁 令和元年10月12日発行
- ・「2019.10-2020.3 催しものご案内」 A3四つ折り 令和元年9月発行
- ・「2020.4-9 催しものご案内」 A3四つ折り 令和2年3月発行

(9) 講演

題名	内容	講演日	主催	会場	講演者
企画展関連講座「養蚕と養蚕信仰」	神奈川県内を中心とした明治～大正期の養蚕と養蚕信仰について	9/20(金)	川崎市立日本民家園	川崎市立日本民家園	高橋典子
横浜で養蚕を学ぶ	養蚕（蚕の生体も含む）から製糸・撚糸を中心とした展示説明	11/13(水)	狛江市教育委員会	シルク博物館	石鍋由美子
多摩区郷土史入門講座「川崎の民間信仰と伝承」	川崎市北西部の年中行事と民間信仰についての講座	11/24(日)	川崎市多摩区総合庁舎	川崎市立多摩図書館	高橋典子

(10) レファレンス

蚕を飼育する学校、個人からの問い合わせのほか、報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

分類	主な内容
蚕の飼育に関して	飼育方法（ふ化から繭作りまでの各過程）
	繭の活用方法（糸くり、繭人形、染色、真綿作り）

	蚕の入手方法
	人工飼料の入手方法
	エサ（桑葉）の確保
蚕糸業に関して	絹の道
	養蚕農家
	製糸業

(11) 後援・協力

ア 後援等

後援内容	事業名	主催	期間	事業内容
後援名義使用	2019年「横浜ファッションウィーク」	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/29(月・祝)～5/4(土・祝)	横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展を目指し、横浜の代表的な地場産業である「横浜スカーフ」の振興産業として実施する。

イ 他機関への協力

協力内容	事業名	主催	期間	備考
招待ハガキ 100 枚の提供	2019年横浜ファッションウィーク	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/29(月・祝)～5/4(土・祝)	招待ハガキ1枚持参につき、大人2名まで入館無料
小・中学生の無料入館	児童福祉週間	神奈川県	5/5(日)～12(日)	入館者実績:188人
小・中学生、高校・大学生の無料入館	開港記念日	横浜市	6/2(日)	入館者実績:14人
蚕種(錦秋鐘和)の提供	企画展示「おこさまとのくらしー岡上の養蚕信仰ー」	川崎市立日本民家園	7/3(水)～11/24(日)	企画展関連事業として養蚕のようすを展示
招待券 10 枚の提供	第45回筑波大学学園祭「雙峰祭」	筑波大学学園祭実行委員会	11/2(土)～4(月・祝)	入場者:約33,000人、福引の景品として
招待券 10 枚の提供	Ferris Festival 2019	フェリス女学院大学大学祭実行委員会	11/3(日)、11/4(月・祝)	入場者:7,559人、ゲームの景品として

招待券 50 枚の提供	第4回横浜絹フェスティバル	横浜絹フェスティバル実行委員会	11/1(金)～26(火)	入場者:約 1,300 人
ポスター掲示	横浜市とリヨン市との姉妹都市提携 60 周年	横浜市国際局国際連携課	11/1(金)～12/27(金)	
広告掲載紙への優待券掲載	かながわシルクフェア	かながわシルクフェア実行委員会	3/9(月)～3/16(月)	優待券 1 枚持参につき、大人 2 名まで入館無料

(12) 職員の派遣

協力内容	事業名	主催	期間	備考
文化財調査のため高橋副館長を派遣	川崎市文化財調査	川崎市教育委員会	4/12(金)	
川崎市文化財レスキューのため高橋副館長を派遣	川崎市市民ミュージアム文化財レスキュー	神奈川県博物館協会	12/12(木)・13(金)、1/14(火)～17(金)、1/30(木)・31(金)、2/7(金)、2/20(木)、2/27(木)	
川崎市文化財レスキューのため佐野職員を派遣	川崎市市民ミュージアム文化財レスキュー	神奈川県博物館協会	1/16(木)、2/20(木)、2/21(金)	
理事として大野学芸専門員を派遣	日本真綿協会理事会	一般財団法人日本真綿協会	令和元年度	

(13) 広報

当館の特別展や基本情報等について、各種媒体に働きかけた。今年度、掲載された先は次のとおり。また、平成 30 年 4 月より公式ツイッターの運用を開始。

ア 春の企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展 シルクのシンフォニー～染と刺繍のかがやき～

区分	媒体名	名称
ラジオ	NHK-FM	平日 11:50～12:00 「天気予報・交通情報」
新聞	朝日新聞	Around Tokyo (夕刊)
	神奈川新聞	ミュージアムコーナー
業界紙	繊維ニュース	
	(公財)横浜市芸術文化振興財団	「横浜画廊散歩」2019.4～6月号

情報誌	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	「シルクレポート」2019.4月号
	(株)新聞編集センター	朝日新聞折込「定年時代」横浜・川崎版、東京版
	(公財)日本博物館協会	「博物館研究」2019.4～6月号
書籍	(株)染織新報社	『そめとおり』薫風号
WEB	(株)イープラス	チラシミュージアム
	(株)丹青社	インターネットミュージアム
	神奈川県立図書館	PLANET かながわ
	(株)ハースト婦人画報社	「美しいキモノ」SNS、「婦人画報」公式サイト
	(公財)横浜市芸術文化振興財団	ヨコハマ・アートナビ
	神奈川県公式の文化発信ポータルサイト	マグカル・ドット・ネット
	蚕糸・絹産業提携グループ 全国連絡協議会	「宝絹」公式ウェブサイト

イ 秋の特別展 開館60周年記念 横浜・生糸ものがたりⅡ 白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—

区分	媒体名	名称
新聞	神奈川新聞	イマカナ
	朝日新聞	Around Tokyo (夕刊)
業界紙	繊維ニュース	
情報誌	(公財)日本博物館協会	「博物館研究」2019.10月号
	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	「シルクレポート」2019.10月号
	横浜商工会議所	「YOKOHAMA 商工季報」2019 秋号
	(株)ぱど	情報誌「ぱど」(金沢区・杉田版/旭区版)
	(公財)横浜市芸術文化振興財団	「横浜画廊散歩」2019.10・11月号
	(株)新聞編集センター	朝日新聞折込「定年時代」横浜・川崎版
WEB	(公財)横浜市芸術文化振興財団	ヨコハマ・アートナビ
	(株)イープラス	チラシミュージアム
	(株)丹青社	インターネットミュージアム
	cubic 株式会社 (mirea 編集部) / 神奈川県公式の文化発信ポータルサイト	「ミレア web」「マグカル・ドット・ネット」 「横浜みなとみらい21」

ウ チャレンジ! かいこプログラム 「かいこ教室」「たのしいかいこの発表会」

区分	媒体名	名称
新聞	神奈川新聞	週末おすすめ
		みなと新聞
情報誌	神奈川県政策局政策部総合政策課	「かながわサイエンスサマー」
	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	「シルクレポート」2019.7月号
	横浜商工会議所	「YOKOHAMA 商工季報」2019.夏号
	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2019.7・8月号

書籍	(株)日経サイエンス	日経サイエンス別冊付録『親と子の科学の冒険』
WEB	蚕糸・絹業提携グループ 全国連絡協議会	「宝絹」公式ウェブサイト
	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」
	cubic 株式会社 (mirea 編集部) / 神奈川県公式の文化発信ポータルサイト	「ミレア web」「マグカル・ドット・ネット」 「横浜みなとみらい21」
	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜観光情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE

エ 連続講座、シルクサロン

区分	媒体名	名称
情報誌	(株)新聞編集センター	朝日新聞折込「定年時代」横浜・川崎版、東京版
	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	「シルクレポート」2020.1月号

オ ワークショップ、実演

区分	媒体名	名称
新聞	読売新聞	City Life (夕刊)
情報誌	サンケイリビング社	「あんふあん神奈川版」5月号
	(公財)日本博物館協会	「博物館研究」2019.5・8・9・11・12月号
	cubic 株式会社 (mirea 編集部)	「Mirea」1/17号
WEB	cubic 株式会社 (mirea 編集部) / 神奈川県公式の文化発信ポータルサイト	「ミレア web」「マグカル・ドット・ネット」 「横浜みなとみらい21」
	(株)JTB パブリッシング	るるぶ Kids
	日経 BP 社	日経 DUAL メルマガ「DUAL おでかけサポート」

カ 常設展、基本情報その他

区分	媒体名	名称
ラジオ	FMヨコハマ	E-ne! ～good for you～
新聞	東京新聞	親子でぶらり!
	朝日新聞	なにこれ? ヨコハマ
情報誌	横浜市民局広報課	横浜市「暮らしのガイド」
	(公財)横浜市芸術文化振興団	「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」
	神奈川県国際文化観光局観光部観光企画課	「かながわの名産100選」
	神奈川県博物館協会	「ぐるりかながわミュージアムマップ」
	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	「横浜ビジターズガイド」
書籍	成美堂出版(株)	『歩く地図 鎌倉・横浜散歩』
	(株)ビジョン企画出版社	『美術大鑑』
	(株)G.B.編集部	『きくちいまの今行きたい 着物さんぽ』
	(株)教材研究所	『おすすめコース東京+横浜』

	(株)美術年鑑社	『美術年鑑』
	(株)ミニマル	『るるぶ横浜中華街みなとみらい』
	(株)教材研究所	『東京散策乗物ガイド』
	(株)生活の友社	『美術界データブック』
	P to P 合同会社「濱手帖」編集部	『濱手帖』第4号
WEB	(株)JTB パブリッシング	るるぶ&more.
	J R 西日本 (西日本旅客鉄道(株))	JR おでかけネット
	J R 東日本 (東日本旅客鉄道(株))	えきねっと
	ヤフー(株)	YAHOO! JAPAN ロコ
	(株)ナビタイムジャパン	NAVITIME Travel
	(公財)神奈川県観光協会	観光かながわ NOW
	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」
	(株)DNP アートコミュニケーションズ	Web マガジン「artscape」
	(株)丹青社	インターネットミュージアム
	(公財)横浜市芸術文化振興財団	ヨコハマ・アートナビ
	(株)フリービット EPARK ヘルスケア	障害者向けサイト「バリナビ！」
	(株)パパカンパニー	あそびい横浜 ー横浜で子供と遊ぶ！ー
	大東建託(株) (大東建託いい暮らしナビ事務局)	DK SELECT いい暮らしナビ
	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜観光情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE
(株)朝日新聞社	おしごととはくぶつかん	

(14) 開館 60 周年記念事業

博物館内の設備を改修・更新し、来館者が快適に利用できる環境と、貴重なコレクションの保存に最適な環境の維持に努めることを目的とした改修工事と、利用者へのサービス向上を目的とした事業を中心に、以下の事業を実施した。

また、当初の計画に加えて、映像ホール上部通路の目隠し壁設置工事と、収蔵品の修復を実施した。

ア 博物館設備・収蔵環境の整備、改修

a 海側エントランスの改修

自重によりゆがみと錆が生じた鉄扉を撤去し、自動ドアを新設。人感センサーを高機能なものに交換し、人の出入りによる外気の流入を軽減した。

b 収蔵庫・展示室空調システムの更新

3階部分の室内機・室外機を更新するとともに、3階展示室と収蔵庫3室の空調機を分離し、収蔵庫の空調機システムを独立させた。

c 博物館準備室の改修

老朽化した内装を撤去し、空調・照明等も更新し、収蔵庫のみならず多目的なスペースとして利用できるよう改修した。

d 館内監視カメラシステムの更新

e 展示室3階映像視聴コーナーの更新

f イベントホール目隠し壁設置

イベントホール利用時に収蔵庫の扉やバックヤード部分が視線に入る状況を改善した。

g 海側階段の柵交換

腐食のみられた鉄柵をアルミ製のゲートに交換した。

h 図書室等への書架、収納棚設置

シルクセンター7階の書庫に書架を設置、準備室にあった文献類を収納した。

また、6階、7階の倉庫スペースに収納棚を設置し、資材や蚕具などを整理し収納した。

イ 利用者向け事業

a 収蔵品のデジタルデータ化とホームページでの公開

ウェブ上にシルク博物館収蔵品ギャラリーを開設し、収蔵品の一部を公開した。

b 外国語表記の充実化

ホームページおよび常設展示の英語表記を拡充した。

c 小学校団体見学等への対応強化

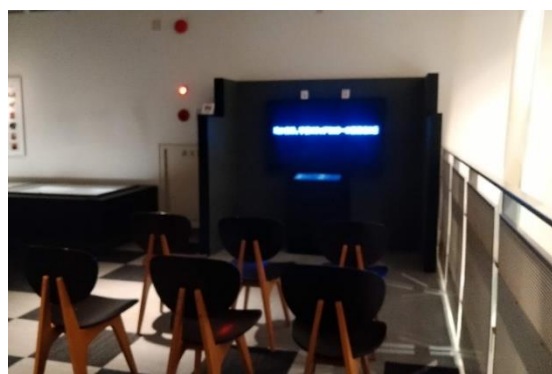
学校との事前打ち合わせ強化、個別の要望への適切な対応を行った。

ウ 収蔵品の修復

a 資料修復 生糸商標貼込帳(2冊)の修復

酸性紙に糊付けされて皺が寄っていたため、1枚ずつ剥がして必要なものは裏打ちし、中性紙ホルダーに収納した。

【写真】



(15) その他

ア 入館料の改定

令和元年10月1日付にて入館料の料金区分を見直し、大学生と高校生以下に区分したうえで入館料を改定した。

【改定前】

区 分		個 人	割引料金
常 設 展	一般	500円	400円
	シニア	300円	200円
	高校・大学生	200円	150円
	小・中学生	100円	50円
特 別 展	一般	700円	600円
	シニア	300円	200円
	高校・大学生	200円	150円
	小・中学生	100円	50円

【現行】

区 分		個 人	割引料金
常 設 展	一般	500円	300円
	シニア・大学生	300円	200円
	高校・中学・小学生	100円	50円
特 別 展	一般※	700円	400円
	シニア・大学生	300円	200円
	高校・中学・小学生	100円	50円

※ 令和元年秋の特別展料金

イ オリジナル商品の開発

オリジナル商品として田島比呂子作のキモノ柄を用いた「一筆箋」シリーズを制作することとした。令和2年度より第一弾・春「やえざくら」の販売を開始。



5 資料

(1) 組織と職員

【組織図】

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館

専務理事 — 事務局長

|

(シルク博物館)

博物館課長(館長)(1) — 学芸担当課長(副館長)(1) 学芸課長(1)

学芸員(1) 事務職員(1) 学芸専門員(1)

非常勤職員(1) 臨時職員(4) ※()内は人員

【委嘱者氏名】 名誉館長

マリ クリスティーン

【職員氏名】

館長

慶徳 俊哉

副館長

高橋 典子

学芸課長

石鍋 由美子

学芸員

佐野 遊海

事務職員

内田 真美子

学芸専門員

大野 美也子

非常勤職員

高橋 多麻実

(2) 事業費

費目	内容	支出(円)
博物館事業費		6,369,050
内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	5,461,578
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費	373,223
広報事業費	広告掲載費	125,888
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	408,361

(3) 所蔵資料

資料名	前年度末の累計 収集・寄贈	令和元年度		本年度末の累計
		購入	寄贈	
資料	6,808	0	2	6,810
写真・ビデオなど	610	0	0	610
図書	6,584	21	4	6,609
計	14,002	21	6	14,029

(4) 入館者状況

ア 平成31年4月から令和元年9月まで

(単位:人)

区 分	個 人				割引料金 ※2				無料 ※3	合 計
	一般	シニア	高・大	小・中	一 般	シニア	高・大	小・中		
4月 【22日】	396 (98)	283 (139)	40 (6)	42 (5)	94 (0)	53 (4)	36 (0)	7 (0)	414 (3)	1,365 (255)
5月 【27日】	619 (62)	392 (55)	103 (8)	142 (2)	103 (0)	264 (0)	69 (0)	896 (0)	1,311 (7)	3,899 (134)
6月※4 【2日】	69 (8)	34 (1)	4 (1)	1 (0)	59 (0)	15 (0)	0 (0)	2 (0)	96 (1)	280 (11)
7月※4 【16日】	326 (41)	69 (18)	20 (4)	146 (2)	83 (0)	19 (0)	1 (0)	348 (0)	565 (0)	1,577 (65)
8月 【26日】	621 (62)	136 (57)	76 (11)	329 (4)	137 (0)	38 (0)	6 (0)	243 (0)	516 (0)	2,102 (134)
9月 【25日】	325 (100)	154 (78)	45 (1)	96 (0)	102 (0)	33 (0)	120 (0)	770 (0)	415 (0)	2,060 (179)
計 ※5 【118日】	2,356 (371)	1,068 (348)	288 (31)	756 (13)	578 (0)	422 (4)	232 (0)	2,266 (0)	3,317 (11)	11,283 (778)

※【 】: 開館日数、(): 外国人の人数を内書き

※2 「割引料金」: 各種割引による入館者

※3 「無料」: 招待券、優待券等による無料入館者

※4 「6月」, 「7月」: 60周年記念改修工事のため6月3日(月)から7月12日(金)まで休館

※5 「計」: 料金区分見直し前の平成31年4月から令和元年9月までの開館日数及び入館者数合計

イ 令和元年10月から令和2年3月まで

(単位:人)

区 分	個 人			割引料金 ※2			無料 ※3	合 計
	一般	シニア・大	高・中・小	一般	シニア・大	高・中・小		
10月 【22日】	295 (105)	165 (63)	132 (1)	27 (0)	113 (0)	690 (0)	412 (2)	1,834 (171)
11月 【22日】	308 (75)	212 (54)	143 (2)	95 (0)	65 (0)	764 (68)	600 (20)	2,187 (219)
12月 【21日】	198 (28)	135 (15)	2 (1)	63 (5)	102 (0)	0 (0)	1,136 (166)	1,636 (215)
1月 【23日】	206 (32)	105 (11)	162 (2)	25 (1)	24 (0)	45 (0)	478 (0)	1,045 (46)
2月 【24日】	149 (23)	43 (4)	37 (1)	47 (0)	12 (0)	126 (0)	307 (0)	721 (28)
3月※4	8	0	1	2	2	0	19	32

【 2日】	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)
計 ※5	1,164	660	477	259	318	1,625	2,952	7,455
【114日】	(266)	(147)	(7)	(6)	(0)	(68)	(188)	(682)

※ 【 】：開館日数、()：外国人の人数を内書き

※2 「割引料金」：各種割引による入館者

※3 「無料」：招待券、優待券等による無料入館者

※4 「3月」：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対応のため、令和2年3月4日（火）から同月31日（火）までを臨時休館

※5 「計」：料金区分見直し後の令和元年10月から令和2年3月までの開館日数及び入館者数合計

ウ 令和元年度 入館者総数

(単位：人)

区 分	個 人	割引料金 ※2	無料 ※3	合 計
合計	6,769	5,700	6,269	18,738
【232日】	(1,183)	(78)	(199)	(1,460)

※ 【 】：開館日数、()：外国人の人数を内書き

※2 「割引料金」：各種割引による入館者

※3 「無料」：招待券、優待券等による無料入館者

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特 別 展 等
1959(昭和 34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第8回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繻の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館10周年記念『シルク博物館所蔵品展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第1回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第2回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第3回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第4回シルク博物館染織作品展』

1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』
1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』

	特別展『シルクフェア'92と第12回染織作品展』
1993(平成5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94と第13回染織作品展』
1995(平成7)	特別展『～繡の美～「甞る足柄刺繡展」』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」-PART II- ～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96と第14回染織作品展』
1997(平成9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』
1998(平成10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第15回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成11)	特別展『文化の伝承ー江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第16回全国染織作品展』
2001(平成13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第17回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』

	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」—綴織に心を込めて—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』
2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」—ヨコハマ染陶暦程—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『—平山郁夫シルクロード美術館コレクション— 「豊饒なる色彩—ウズベキスタンの布と器」
2012(平成 24)	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラプライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
2013(平成 25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 「夢を紡いだシルク」—「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマ—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『—美しい日本の絹—「友禅」』
2014(平成 26)	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』
2015(平成 27)	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』

2016(平成 28)	企画展『キモノの美—人間国宝田島比呂子の友禅—』
	特別展『第 24 回全国染織作品展』
2017(平成 29)	企画展『ふくらむ はずむ まじわる シルクの輝きを知る～織りの美～』
	特別展『横浜・生糸ものがたりⅠ “かいこ” と暮らす—かながわ養蚕録—』
2018(平成 30)	企画展『江戸の粋とデザイン—小袖コレクションから』
	特別展『第 25 回全国染織作品展』
2019(平成 31・ 令和元)	企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展 「シルクのシンフォニー ～染と刺繍のかがやき～」
	特別展 開館 60 周年記念 横浜・生糸ものがたりⅡ 「白き糸の調べ—かながわの製糸・撚糸—」

シルク博物館令和元年度年報

令和2年7月7日発行

編集・発行 シルク博物館

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町1番地

TEL 045-641-0841

